

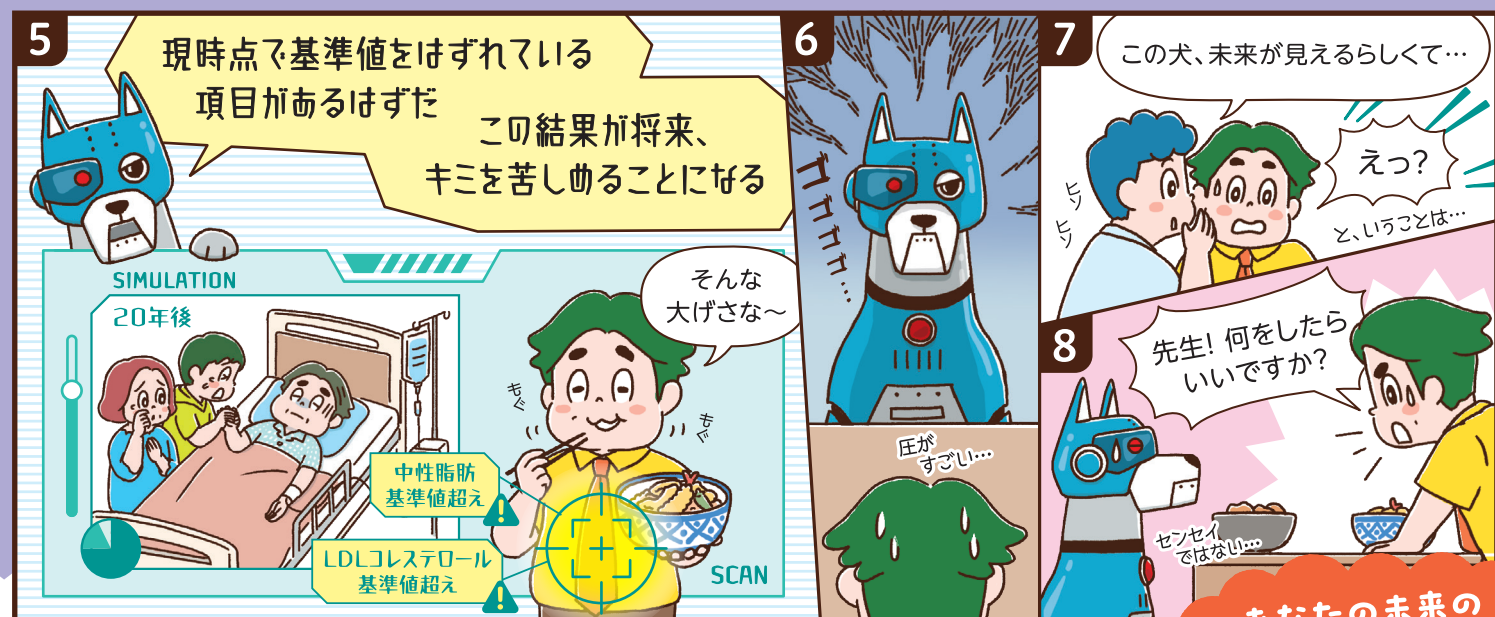
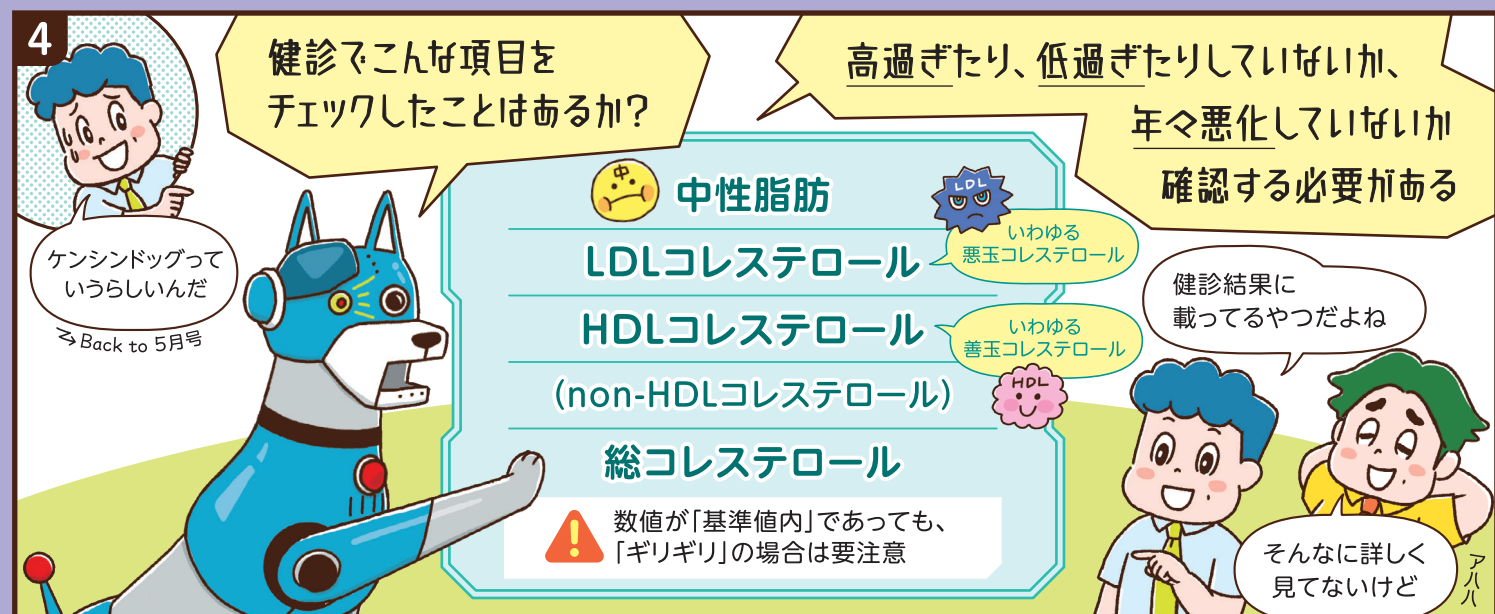
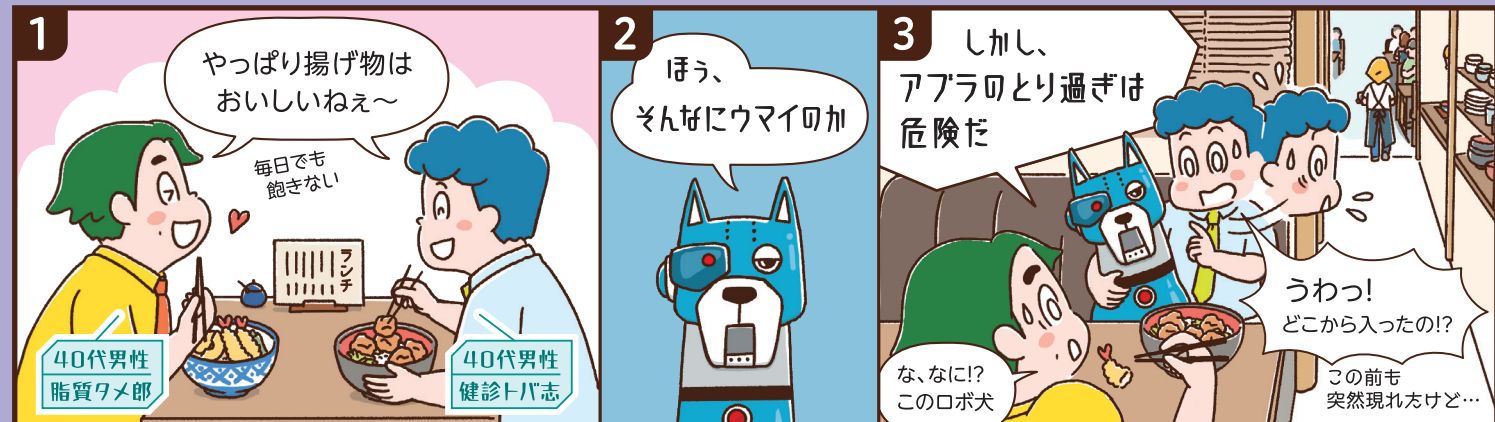


マンガ
けんしん
けんぽ
シリーズ②

今回のテーマ

見過ごせない、アブラの脅威

数値が高くて目立った症状が出ないために甘くみてしまいがちな項目「脂質」。放っておくと実はとても危険です。



全国健康保険協会 愛知支部
協会けんぽ

☎ 052-856-1490

受付時間 8:30～17:15
(土・日・祝日・年末年始を除く)

〒450-6363 名古屋市名村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋23階

あなたの未来の健康を守るために...

次へ

直近の健診結果を見てみよう



多過ぎても少な過ぎてもいけないのが脂質。この脂質のバランスが崩れた状態が脂質異常だ。生活習慣病のリスクとしての脂質異常症は、LDLコレステロール、HDLコレステロール、中性脂肪の数値を主としてチェックする。

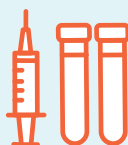
多過ぎ
注意



空腹時中性脂肪
150mg/dl未満

随時中性脂肪 175mg/dl未満

総コレステロール
140～199mg/dl



血液検査

LDLコレステロール
120mg/dl未満



多過ぎ
注意

HDLコレステロール
40mg/dl以上



少な過ぎ
注意

non-HDLコレステロール 150mg/dl未満

※数値は基準値(参考値)です。受診された健診機関によって異なる場合があります。

脂質異常を放置すると…



動脈硬化

主にLDLコレステロールが多くなり過ぎることをきっかけに、血管の柔軟性が失われる動脈硬化が進みます。中性脂肪が多過ぎたり、HDLコレステロールが少な過ぎたりといった状態を含め、脂質のバランスが崩れた状態(脂質異常)は病気のリスクが高くなります。

そして、動脈硬化は右のような病気にもつながっていきます。



心筋梗塞

心臓に栄養を送る血管(冠動脈)が詰まる病気で、予兆なく突然発症することも少なくありません。発症すると、突然死や心原性ショックなどの重篤な合併症が生じます。

こわい～!



脳梗塞・脳出血

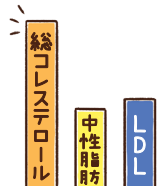
脳の血管が詰まったり、破れたりする病気です。ある日、突然発症し、重篤な状態になることも少なくありません。一命をとりとめても、まひ、言語障害など後遺症がのこるケースが多くみられます。

「健康サポート(特定保健指導)」のご案内が届いた方は、必ず受けて病気の発症を防ぎましょう。



▶「総コレステロール」の値だけ高い場合

総コレステロールの数値が高い場合、中性脂肪やLDLコレステロールも多いのが一般的ですが、まれに総コレステロールのみが高値の人もいます。基本的には中性脂肪もLDLコレステロールも数値が低いのであれば健康への大きな影響はないと考えられますが、総コレステロールの数値が基準値を大幅に超えるなど、あまりに高値の場合はあらためて検査が必要なケースもあります。



脂質の検査は、以下のいずれでも受けることができます。

生活習慣病予防健診

対象者 35歳～74歳の被保険者

▶お申込みは健診機関へご連絡ください!

特定健診

対象者 40歳～74歳の被扶養者

▶お申込みは「受診券(セット券)」と「健康保険証」を用意して健診機関へご連絡ください!

